



元気なクラブ づくりのために

クラブ・リーダーシップ・プラン 日本

あなたのクラブは「元気」ですか

ご自分のクラブについて考えてみてください。

楽しく、活気に満ちていますか？

会員の積極的な参加と新しいアイデアを奨励し、全員の個性や職業を生かして実りある活動を実施していますか？この手引きは、これまでに成功したヒントやアイデアを紹介し、クラブがさらに飛躍するためのプランを立てる参考としていただくことを目的としています。「いいクラブ」から一歩その先を目指して、全会員がクラブの未来を形づくり、クラブと地域社会に貢献していると実感できるような元気なクラブをつくるために。

私のクラブは「元気」です

創立60周年を迎える当クラブは、歴史と伝統を誇りつつ、活力あふれるクラブづくりのためにクラブ改革と奉仕プロジェクトを展開しています。

今ある戦略計画の先駆けともいえる「21世紀委員会」を2003年に設置し、クラブの現状分析と長期的視点に立った改革事項をまとめ、毎年その見直しを行っています。また、必ず年に1回は会員満足度アンケートを実施して、クラブの改善に努めています。

昨年度、私はクラブ初の女性会長となり、グローバル補助金に挑戦しました。このプロジェクトでは、米山記念奨学金の学友を起用して、現地のニーズ調査とパートナーとの連携に成功しました。

未来のリーダーの育成にも力を入れています。会長エレクト研修だけでなく、新会員研修も積極的に実施しています。この研修が当クラブの提案によって地区にも導入され、PETSの「予習機能」としての役割を果たしています。

地域社会での活動にも精力的です。当クラブが中心となり、市内の他クラブと合同で提唱している「まえばし学校フェスタ」は、市内公立小・中・高の合同文化祭として地元市民から好評を得ています。また、家族も参加できる合唱グループや、野球、ゴルフ、ハイキング、インターネットのグループをつくったり、インターアクト、ローターアクト、プロバスクラブを提唱するなど、ファミリーを大切にしています。

活気あるクラブづくりを目指すこのようなたゆみない努力の結果、当クラブは、地区内で最多会員数を誇り、6名のガバナーを輩出しています。

前橋ロータリークラブ会員
山田邦子さん



1 クラブの5年後の姿を思い描く

クラブの5年後のビジョンを話し合い、その実現に向けた実行項目を具体的に挙げていきましょう。会員増強、奉仕プロジェクト、公共イメージの向上、リーダーの育成、ロータリー財団への参加などの要素を盛り込んだ長期目標を決め、クラブの戦略計画を立てていますか?必要に応じて計画に修正を加えながら、長期目標の達成に向けてクラブ全体で取り組むことが大切です。

アイデア:クラブでやってみよう

- 1か月間、例会をクラブの戦略計画づくりにあてる（「戦略計画立案ガイド」を活用する）。
- 1回の例会を違う場所で開いてみる。気分を変えることで新しいアイデアが生まれたり、リラックスした雰囲気の中で気兼ねのない話し合いができるかもしれません。
- 全会員の積極的な参加を目指す5カ年計画を立てる。

My ROTARYから 利用できるリソース

戦略計画立案ガイド

2 年度目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに 入力する

長期目標を立てたら、その達成に向けた現実的で測定可能な年度目標を立てましょう。年度目標をロータリークラブ・セントラルに入力し、その進捗状況を記録すれば、クラブ会員全員がいつでも目標の達成度を確認できます。情報を定期的に更新し、常に最新情報が表示されるようにしましょう。

アイデア:クラブでやってみよう

- クラブが得意としている活動や分野を見つけ、その長所をさらに伸ばす。
- 地域社会のニーズに取り組むような年度目標を、各委員会に提案してもらう。
- 月1回の例会で目標に向けた進捗報告を行い、会員全員に進展を伝える。

My ROTARYから 利用できるリソース

ロータリークラブ・セントラル
ラーニングセンターの
「ロータリークラブ・セントラルの
リソース」のコース

3 クラブ協議会を通じて全会員の積極的な参加を促し、情報を伝える

クラブへの参加を実感してもらえるのが、クラブ協議会です。クラブの目標や活動について全会員が意見やアイデアを交換する場があれば、全員の知識や経験を最大限に生かして地元のニーズに取り組むことができるでしょう。クラブ協議会は、会員の活動意欲を高め、奉仕への熱意をクラブ全体で高めることのできる機会です。

アイデア:クラブでやってみよう

- 近隣クラブの会長同士が例会に出席し合う「会長交換」を行う。交換の後にクラブ協議会を開き、その経験について会員に話す。
- 協議会で、新会員にクラブ入会後の第一印象を話してもらったり、会員に新しいアイデアを出してもらおう。
- 月に1度、例会の最後に10分間のオープンフォーラムを開き、新しいアイデアや話し合いたいトピックを会員から出してもらおう。

4 クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る

クラブのコミュニケーションは双方向とすることが大切です。コミュニケーションの透明性を保ち、クラブリーダーに誰でも気軽にコミュニケーションをとれるようなオープンな環境をつくりましょう。例会、クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアなど、さまざまな方法を用いたコミュニケーションプランを立ててください。

アイデア:クラブでやってみよう

- クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを頻繁に更新する。一般公開されている情報とは別に、会員専用の情報が共有できる場を設ける。
- インターネットに詳しい会員から、ウェブサイトやソーシャルメディアの使い方を教えてもらう。
- 情報を全会員と共有し、共有方法が適切かどうかを時々確認する。

My ROTARYから利用できるリソース

クラブ会長要覧

クラブ管理運営委員会の手引き

My ROTARYから利用できるリソース

ロータリーの
ブランドリソースセンター

5 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る

毎年リーダーが交代するロータリーでは、多くの会員がリーダーの役割に就くチャンスがあります。できるだけ早い時期からリーダーの役割を理解し、準備をしておくことが重要です。リーダーシップの継続性を保つ方法には、任期を多年度にする、元委員長と次期委員長が委員会に出席する、現会長が会長エレクト、会長ノミネー、直前会長と密に協力する、などが考えられます。未来に目を向け、今後リーダーの役割を担うことのできる人材を育てましょう。

アイデア:クラブでやってみよう

- 委員長などのリーダーが各自で後任者を選ぶ。各役割をこなすのに必要な適性やスキルは本人が一番よく心得ているため、適任者を最もよく判断できる。
- 各会員の才能や関心は何かを知り、その人が楽しみ、力を最大限に発揮できるような役割を割り当てる。
- 役員就任の少なくとも1カ月前までに役員の「OJT (オンザジョブトレーニング)」を行う。

My ROTARYから利用できるリソース

指導力育成プログラムを始めるための手引き

クラブ会長要覧

クラブ幹事要覧

クラブ会計要覧

各種クラブ委員会の手引き
(クラブ管理運営委員会、
会員増強委員会、
広報委員会、
奉仕プロジェクト委員会、
ロータリー財団委員会)

6 クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する

クラブの発展に伴い、細則も変化すべきです。クラブの運営や手続きをまとめた細則を作成するための出発点となるのが、「推奨ロータリークラブ細則」です。推奨細則をテンプレートとして活用し、クラブが最近取り入れた運営方法や手続きを盛り込んだ細則を作りましょう。

アイデア:クラブでやってみよう

- 土台として使っている「推奨ロータリークラブ細則」が最新版であることを確認する。
- 細則の内容について会員が意見やフィードバックを提供できるよう、細則をクラブのウェブサイトに掲載したり、クラブ協議会で配る。
- 年に1度、クラブ全体で細則を見直し、新会員にも細則を渡す。
- 新しい方法や手続きをクラブが取り入れる場合、細則を改正する前に、「試験期間」を設ける。

My ROTARYから利用できるリソース

推奨ロータリークラブ細則

標準ロータリークラブ定款

7 会員同士の交流を深める

会員が交わり、共通の趣味や関心を見つけられるよう、親睦の機会を設けましょう。ロータリーを楽しんでいる会員は、クラブに積極的に参加するものです。クラブ行事に家族を招待すれば、若い会員でも出席しやすくなるでしょう。特に、新会員の入会といった機会は親睦行事を行うのに最適です。



アイデア:クラブでやってみよう

- 例会ごとに違う会員と同席し、互いを知り合う。
- 遠くに住む会員や子どものいる会員のニーズに応えるため、衛星クラブの設立を検討する。
- 例会、奉仕プロジェクト、行事に友人や家族を招き、ボランティア活動の素晴らしさを体験してもらう。
- 会員が参加したいと思う親睦行事はどのようなものか、どの曜日や時間が都合がよいかを調べるために、アンケート調査を行う。

8 会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする

ロータリークラブ入会の理由として多いのが、「地域社会への参加」と「新しい人との出会い」です。これらは、クラブにとどまり続ける理由のトップ2でもあります。積極的な参加を通じて会員に熱意と責任感が生まれ、ロータリーへのかかわりもさらに深まっていくでしょう。クラブの奉仕活動やそのほかの取り組みにボランティアとして積極的に参加するよう呼びかけましょう。



アイデア:クラブでやってみよう

- 各会員がクラブに入会した理由を調べ、その理由と関連する役割に抜擢したり、関連する奉仕プロジェクトや行事に協力してもらう。
- 会員の関心を調べるアンケートを実施し、その結果を基にプロジェクトや活動を計画したり、例会プログラムを企画する。
- 全会員に改めて自己紹介をしてもらい、経歴、特技、趣味、関心など、クラブにどのような人材がそろっているかを皆で確認する。
- クラブの活動を通じて会員が学び、貴重な経験を積む方法を考える。ロータリーでの新しい経験が仕事に役立ったり、人間的成長の機会となることもある。

My ROTARYから利用できるリソース

ロータリー親睦活動要覧

ロータリアン行動グループ

www.riconvention.org/ja

で国際大会に登録

My ROTARYから利用できるリソース

活動する地域社会

クラブ評価ツール

プロジェクトの各段階に役立つリソース

9 ロータリーのリーダーとなる人材を育てる

ロータリークラブは職業人とリーダーの集まりです。新会員のオリエンテーションや全会員を対象としたリーダーシップ研修など、包括的な研修プランを立てることで、明日のロータリーのリーダーとなる人材を育てることができるでしょう。現クラブリーダーは、地区研修に出席し、そこで学んだことをクラブで実践します。

アイデア：クラブでやってみよう

- クラブの研修リーダーまたは研修委員会を任命し、研修プランの立案と実施を担当してもらう。
- 若手会員や入会からまだ日の浅い会員をリーダーの役割に抜擢する。これらの会員も、それぞれが持つ知識や経験を生かして役目を十分に務めることができ、職業人としても成長できる。
- どのようなリーダーシップスキルを学びたいか、会員に尋ねる。

10 クラブ運営に必要な委員会を設置する

クラブの効果的な運営を支える委員会を設置しましょう。以下の委員会が推奨されています。

- 管理運営委員会
- 広報委員会
- ロータリー財団委員会
- 会員増強委員会
- 奉仕プロジェクト委員会

ロータリー補助金や青少年奉仕など、必要に応じてほかの委員会も設置できます。どのような委員会構成であれ、これらの委員会がクラブ目標に向けた活動を支援することが大切です。

アイデア：クラブでやってみよう

- 小規模クラブ：委員会の活動を統合する方法を検討する。
- 大規模クラブ：全会員が参加できるよう、追加の委員会を設ける。

My ROTARYから利用できるリソース

奉仕と親睦の輪を広げよう

新会員のための情報

ラーニングセンターにある
研修リーダーツールキット

新会員のオリエンテーション

指導力育成プログラムを
始めるための手引き

My ROTARYから利用できるリソース

クラブ委員会構成の例

各種クラブ委員会の手引き
(クラブ管理運営委員会、
会員増強委員会、
広報委員会、
奉仕プロジェクト委員会、
ロータリー財団委員会)